



Walk with Children

めぐろ



せいび

213 号
2025 年 6 月

サレジオン国際学園目黒星美小学校

いっしょに喜んでください。見失った私の羊を見つけましたから

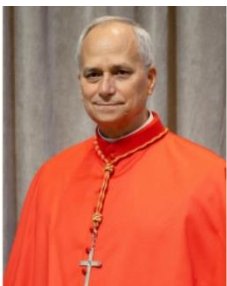
(ルカ福音書 15 章 6 節)

校長 シスター小島 理恵

先日のみことば朝礼で、イエスの慈しみの 3 つのたとえ話の一つが読まれました。有名な「見失った羊のたとえ」です。99 匹を安全な場所に残し、見失った羊を探しに行く羊飼いが、その一匹を見つけた時の喜びを表すとえ、つまり、「神様の慈しみの深さ」を表すとえです。見失った一匹とは、私たちのことを指しますが、どんなときにも一人ひとりを心にかけてくださる神様が、道を外れてしまった時も忍耐強く待ち、探し出し、見つけた時には心の底から喜んでくださるという、実に有り難いたとえです。

子ども達は皆、悲しみや苦しみよりも、喜びの方が好きだと言います。私たちの学校は「喜びのある学校」です。しかもそれは、自分一人だけの喜びではなく、周りの人たちみんなと一緒に味わえる喜びです。友達の喜びや成功と一緒に喜べることは神様も一緒にお喜びになり、もっと大きな喜びにつながることを日々味わってほしいと思います。

子ども達の心を神様が成長させてくださることを信じて、これからも子どもと共に過ごしてまいります。



教皇様との出会い

教頭 徳田 清美

私と教皇様との出会いは、小学生でした。

後樂園球場で、野外ミサを行う教皇ヨハネ・パウロ 2 世をテレビ越しで見っていました。

その後、バチカン市国のサン・ピエトロ大聖堂に赴き、教皇ベネディクト 16 世の姿を一目だけ拝見し、2019 年東京ドームでのミサにて、教皇フランシスコの「平和へのメッセージ」を拝聴したのを今でも覚えています。

そして、この 4 月教皇レオ 14 世が第 267 代教皇に選ばれました。

本校では、毎年 6 月に「教皇様のために祈る日」を行います。P. A. M. の児童が、自ら調べ、1 年生にも伝わるように内容を工夫して、教皇様を紹介します。星美の子ども達は、「教皇様ってどんな方」とその存在を知り、いつも世界平和のために祈り、活動される教皇様の優しさを徐々に感じていきます。そして、自然と平和のために自分の務めを果たすようになるのです。

今年度もこの集いを通して、子ども達が、亡くなられた教皇フランシスコを想いながら、新しい教皇様との出会いを大切にしていけることを願っています。

聖母祭 5月22日

子ども達は、カーネーションを手に祈りを唱え、聖歌を歌い、体育館に集いました。参加された保護者の皆様とも聖母マリアから受けた恵みの感謝と世界の平和をともに願うことができました。マリア様を崇め、心をこめて行った徳の花を捧げ、心を一つに祈りました。

はじめての聖母祭

1年生担任

子ども達は、5月の母の日に向けて、お母さんの喜ぶ顔を想像しながら、準備をします。本校でも、同様にマリア様が喜ぶプレゼント、「徳の花」を聖母祭に向けて実行します。1年生は、9つのプレゼントを一生懸命に取り組み、聖母祭から大きな喜びを得ました。1年生の素直な思いを紹介します。

- ・みんなで気持ちを合わせ、マリア様の心の中に入ってお祈りができて良かった。
 - ・神父様のお話で、お恵みのことが良く分かった。「お恵みってただでもらえるのだよ。すごいな。」
 - ・たくさんの人にお祝いされて、マリア様は嬉しいだろうな。
 - ・バラの花びらでお祝いされるマリア様がきれいで、素敵だった。
- この素直な思いを大事に、優しい心を育んでいきたいです。



聖母祭でおいのりをしたよ

3年

わたしは、聖母祭にさんかしました。体いく館に着くと、とてもきれいなマリア様がいらっしゃいました。わたしは、マリア様が「どうぞいらしてください。」と、かんげいしてくださっているような気持ちになりました。マリア様が、だれでもかんげいしてくださっていることが分かりました。マリア様みたいに、きよい心と思いやりの心をもった自分になりたいと思いました。

わたしは今日一日、たくさんのやさしさを見つけました。たとえば、カーネーションをおくときは、やさしくおきます。一つ一つに思いやりがこもっていれば、大きな思いやりになると思います。物だけでなく、人にもやさしくしたいです。

聖母祭

5年

ぼくは、聖母祭の前までは、聖母祭は徳を積んでマリア様におさげをする行事だと思っていました。しかし、今年の聖母祭を経て、印象が大きく変わりました。

それは、関谷神父様のお話があったからです。お話の中で神父様は、マリア様はたくさん「おめぐみ」をもらった方で、ぼくたちにも神様は「おめぐみ」をあたえてくださっていることを話してくださいました。

いつもぼくは、「おめぐみ」をあたえてくれる家族や友達に反発してしまうことがあります。今日です。しかし、これからは、まわりの人のあたえてくださる「おめぐみ」に感謝し、ぼくも、だれかのために生きる人になりたいと思いました。

